

## 6 月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成30年6月22日（金）
開催時間	午前10時00分
開催場所	本館6階 大会議室
出席委員	中山 教育長 木下 教育長職務代理者 御喜田 委員 村本 委員 水野 委員
出席職員	吉川副教育長・尾谷教育総務部長・田中生涯学習担当部長・今岡学校教育部長・高橋教育総務部次長兼総務人事課長・万代教育総務部次長・山本学校教育部次長・式教育政策課長・南生涯学習スポーツ課長・谷八尾図書館長・湊文化財課長・大木学務給食課長・仁科指導課長・塚本教育センター所長・森人権教育課長・西村教育政策課長補佐

【中山教育長】 それでは、ただいまから6月定例教育委員会を開催いたします。  
本日の会議録署名委員に御喜田委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

【中山教育長】 では、5月臨時教育委員会会議録の承認について審議いたします。委員の皆様、この件につきまして質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【中山教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、5月臨時会会議録について承認と決しました。

【中山教育長】 次に、5月定例教育委員会会議録の承認について審議いたします。委員の皆様、この件につきましても質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【中山教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、5月定例会会議録について承認と決しました。

【中山教育長】 それでは、教育長及び教育委員の報告に移ります。

(教育長報告)

5月22日(火)	定例教育委員会 平成30年度八尾市体育連盟第1回理事会
5月23日(水)	手をつなぐ子らの会「春のつどい」西・南ブロック 八尾市障がい者問題協議会平成30年度総会
5月24日(木)	平成30年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会
5月27日(日)	八尾モラロジー事務所50周年記念
5月30日(水)	八尾市文化財保護審議会
6月4日(月)	第12回高安悠画会「アリオ八尾」絵画展オープニングセレモニー
6月6日(水)	校長会
6月8日(金)	平成30年度八尾市体育連盟功労者・優秀選手表彰並びに第72回大阪府総合体育大会激励会
6月9日(土)	八尾市歯科医師会創立70周年記念式典
6月12日(火)	6月市議会定例会本会議(第1日)
6月13日(水)	6月市議会定例会本会議(第2日)
6月14日(木)	6月市議会定例会本会議(第3日) 桂中学校区地域教育協議会全体会
6月15日(金)	定例教育委員協議会 平成30年度第1回八尾市総合教育会議
6月16日(土)	第26回大阪府在日外国人教育研究協議会研究集会中河内大会全体会
6月20日(水)	文教常任委員会

【中山教育長】 私の報告にもございますが、教育委員の皆様にも大阪府都市教育委員会連絡協議会等々に出席いただきましたので、教育委員の皆様からこの間の活動についてご報告ありましたらよろしくお願いいたします。

今、申しあげました大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会終了後には「大阪の教育—子どもたちの豊かな育ちに向けて—」と題された、学力向上、生徒指導、家庭教育支援等の観点による基調講演が大阪府教育庁の市町村教育室長の坂本俊哉氏よりありました。

なお、総会において、全国市町村教育委員会連合会の功労者表彰伝達及び大阪府都市教育委員会連絡協議会感謝状の贈呈式がありましたが、その際に、故 百瀬委員の表彰及び感謝状をお預かりしましたので、その日のうちに私と事務局でご仏前にお届けに上がりました。改めて、3期にわたって教育委員や教育委員長、同職務代理者を歴任され、私の就任に伴う新制度の移行に際しましては、教育長職務代理者にも就任いただき、引き続き八尾市教育委員会をリードしていただきました、百瀬さんの遺徳を偲ぶ機会となりました。

また、6月15日には、これは今年度の第1回総合教育会議が開催され、教育委員の皆様とともに出席し、市長とともに、平成31年度における重点的施策の方向性について協議させていただきました。教育委員会として、次年度に重点的に取り組む内容につきまして、木下教育長職務代理者をはじめ、各委員の皆様からも熱のこもったお話をいただき、市長とさまざまな分野で意見交換させていただきました。学校教育や生涯学習の視点で、

次年度に向けた教育委員会と市長部局、双方の思いを共有できるよい機会となりました。

委員の皆様と私とが同席させていただいた内容は以上ですけれども、これらの件につきましてご感想や補足、ほかの活動状況等、何かありましたらご発言いただけたらと思います。

【木下教育長職務代理者】 今、教育長から総合教育会議のお話があったんですが、そのとき私が話したことだけをかいつまんで申しあげますと、いよいよ新学習指導要領への移行が始まりますので、そのことについてと、市長にお願いしたことは、教員の働き方改革が言われるけれども、かけ声と意識だけでなく、働き方改革ができる物的な条件を整えてほしいと、例えば電話ですよ、そういうのを工夫してほしいということをお話しました。

以上です。

【御喜田委員】 私から、総合教育会議でお話しした内容というのは、今までと同様学校現場、子どもと家庭教育の大切さということをお話させていただきました。家庭の状況が多様化する中で、丁寧に、子どもだけではなく、その家庭の状況、背景なども把握して、かかわっていくことが大切だということと、あとSSWの大切さということもお話させていただきました。活発な意見交換ができたと思っています。ありがとうございました。

【村本委員】 私からは、文化財の保護について多方面にわたって意見を述べさせていただきました。

以上です。

【中山教育長】 水野委員、総合教育会議は初めてのご出席だったんですが、感想も込めてどうぞ。

【水野委員】 SSWのことも含めて、貧困のことが、大学でも非常に気になるということと、貧困と学力というお話ですね。生活経験が非常に限られているということ、あと虐待を受けている子どもを見ていて思うんですけど、期間を決めて物事をやるという経験がないんですね、いい意味でも悪い意味でも。ですから、頑張れって言ったときに、どこから頑張るかもよくわからない、頑張った経験もないですし、その日暮らしというか、その瞬間瞬間で生きているそういう課題のある子どもを頑張らせている八尾の先生方のこともお話ししましたし、学力は、貧困とかなり連動している問題で、しっかり取り組んでいかないといけないというお話をして、市長もわかってくださったという印象を受けました。大学生にも貧困が広がっているという話については、そうなんですねといった話をしてくださいましたし、一つ一つコメントをいただきました。

以上です。

【中山教育長】 ありがとうございました。また、引き続きよろしくお願ひいたします。

## {議案審議}

【中山教育長】 では、議案第 28 号「八尾市史跡保存活用審議会委員の委嘱の件」につきまして審議いたします。

提案理由を洵文化財課長より説明願います。

【洵文化財課長】 それでは、ただいま議題となりました議案第 28 号「八尾市史跡保存活用審議会委員の委嘱の件」につきまして、ご説明いたします。

本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 7 号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

提案の理由でございますが、史跡の保存及び活用調査、審議するにつき、八尾市史跡保存活用審議会規則第 3 条の規定に基づき、委員を委嘱する必要があるため、本案を提出する次第でございます。

それでは、お手元配付の八尾市史跡保存活用審議会委員名簿（案）に基づきまして、ご説明申し上げます。

まず、学識経験のある者として、考古学を専門とする方 3 名、建築史を専門とする方 1 名、そして古代史を専門とする方 2 名、史跡の活用を専門とする方が 1 名、そして、その他教育委員会が必要と認める者として地域代表の方が 1 名、計 8 名の方を今回審議会委員としてご提案するものでございます。

任期につきましては、平成 30 年 7 月 1 日から平成 32 年 6 月 30 日までの 2 年でございます。

以上、まことに簡単ではございますが、提案理由の説明といたします。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

【中山教育長】 説明が終わりましたが、委員の皆様、この件につきまして質疑ございませんでしょうか。

【木下教育長職務代理者】 名簿を見せていただいたんですが、考古学を専門とされる方が 3 名いらっしゃるんですが、特に考古学に重点を置かれる理由を教えてください。

【洵文化財課長】 今年度、現地の基壇の発掘調査を行う予定でございます。その発掘調査の際に現地での指導及び今後、塔基壇の復元や活用等を検討していきたいと考えております。そのために、今回 3 名の考古学の先生の方をお願いしております。菱田先生は、主に考古学の立場から古代国家の形成について考えておられる方です。長友先生につきましては、主に土器や木製容器から、食文化について考えておられる方で、由義宮等の生活面について検討できればと考えております。そして網先生は、都城史と古代寺院史の関係を研究されておられる方で、主に瓦の研究等をやられております。今回は大変多くの瓦が出土しておりますので、そういうことも含めまして、この 3 人の方をお願いした次第でございます。

【中山教育長】 ほかにご質問等ございませんか。

教育委員会が必要と認める者で、なぜ地域の方を選んだのかをお話しいただきたいと思います。

【湊文化財課長】 由義寺の保存、活用をしていく上で地域の方々との連携、あるいはご助力なしには進めていくことはできません。また、発掘調査におきましても情報公開等を積極的に行っていきたいと考えており、学校等と連携する機会もつくっていきたいと思っております。そのためには、地域の方に入っただいて、いち早く情報等を共有するということも含めまして、今回山下氏にこの審議会に入っただければと考えております。

【中山教育長】 水野委員、いかがですか。

【水野委員】 国立文化財機構はどのような組織なのか教えてください。

【湊文化財課長】 国立文化財機構というのは平成 19 年にできた組織なんですが、もともと東京、京都、そして奈良の 3 つの国立博物館があり、この 3 つの博物館が平成 13 年の省庁再編に伴って独立行政法人国立博物館というものになりました。同時に、調査等をやっております東京文化財研究所、それから奈良文化財研究所も独立行政法人文化財研究所という組織になりました。この 2 つの独立行政法人が平成 19 年に 1 つに統一されまして、独立行政法人国立文化財機構という組織ができました。また、平成 17 年には九州国立博物館、平成 23 年にはアジア太平洋無形文化遺産研究センターも含まれました。ですから、この組織には博物館、研究所、そしてセンターの 7 つの施設が入っており、文化財の保存収集と調査研究、それと各地方公共団体に対する援助等を行っているところでございます。

【中山教育長】 この奈良文化財研究所から建築史と史跡活用の方、2 人出っただくということなんですね。

【湊文化財課長】 箱崎先生は建築史の専門でして、東大寺等の七重の塔の復元案の検討に係わっておられます。今回の由義寺の塔の復元イメージ図作製の際にもご協力いただいた先生でございます。

もう一人の清野先生は、史跡整備を担当されていますので、主に活用等について検討いただけるということで入っただいています。

【中山教育長】 順番に来たので、古代史の方お二人も一緒に説明していただけたら。

【湊文化財課長】 瀧浪先生は、もともと八尾に住んでおられ、主に奈良時代が専門で、特に道鏡と称徳天皇に関する著書がございます。

それと、吉川真司先生につきましては、奈良、あるいは平安時代の政治史についての研究をされている方でございます。

由義寺や由義宮が造られた時代的背景の位置付け、それから将来的にさまざまな展示について、先生方からご助力をいただきたいと考えております。

【中山教育長】 委員の皆様、ほかはよろしいでしょうか。

【木下教育長職務代理者】 由義寺の保存活用ということですが、どういう形で審議会を進めて、報告書などを出そうとされているのか、お聞かせ願えればありがたいです。

【消文化財課長】 審議会の進め方についてですが、今年度、審議会は、4回の開催を予定しております。調査に関する計画、それから現地をどのように掘っていくのか、あるいは調査の現状を見ていただいて、次年度以降調査をどうするのかという検討をしていただきます。

その後、調査成果の報告書の作成と、塔基壇の復元検討に入ることができればと考えております。また、平成 31 年度は、文化財保護法の改定がございまして、史跡の保存活用計画を策定していくということが盛り込まれておりますので、我々も策定していきたいと考えております。

【中山教育長】 大変ですがよろしくお願ひします。よろしいでしょうか。

それでは、採決に移らせていただきます。

議案第 28 号につきまして、原案どおり可決することでご異議ございませんか。

【全委員】 異議なし。

【中山教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、議案第 28 号「八尾市史跡保存活用審議会委員の委嘱の件」について、原案どおり可決いたしました。

#### {報告事項}

【中山教育長】 事務局から、事前に2件の報告事項を聞いておりますので、まず、「八尾市立歴史民俗資料館の休館について」、消課長より報告願います。

【消文化財課長】 それでは、「八尾市立歴史民俗資料館の休館について」ご報告申し上げます。

歴史民俗資料館では、空調設備の改修工事に伴いまして、本年9月1日から平成 31 年2月28日までの間、休館することとなりました。

なお、休館中におきましても、学校園への出前授業や綿繰り機等の貸し出しは行ってまいります。また、講座や講演会につきましては、高安コミュニティセンター等を利用して平常どおり行う予定でございます。

また、市民周知につきましては、市政だよりやホームページ等を活用して行ってまいります。学校園等につきましては、事前に通知しておりまして、混乱のないような状況には

いたしております。

以上、歴史民俗資料館の休館についてのご報告でございます。

【中山教育長】 引き続きまして、「八尾市立学校園の緊急安全点検について」、式教育政策課長より報告願います。

【式教育政策課長】 それでは、「八尾市立学校園の緊急安全点検について」、ご報告させていただきます。

平成 30 年 6 月 18 日月曜日午前 7 時 58 分ごろ、大阪府北部を震源とする最大震度 6 弱の地震が発生し、死亡された方が出るなどの痛ましい被害が発生しました。

地震発生後、市立幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校に取り急ぎ電話による状況確認を行ったところ、児童、生徒、教職員への人的被害はないことを確認いたしました。

また、校舎等については一部ひびが入っている等の報告があったため、建築部の協力を得て現場確認を行いました。直ちに被害につながるような状況はありませんでした。

ただ、今後特に 1 週間以内に同じ規模の余震が発生する確率が高いことや、高槻市で転倒したブロック塀の下敷きになり、小学 4 年生の児童が亡くなられたことを踏まえ、建築部とともに 16 班 32 人体制で、6 月 19 日火曜日に全ての市立幼稚園、小中学校、特別支援学校等を対象にブロック塀の緊急点検を実施いたしました。

点検の状況といたしましては、今のところ直ちに処置が必要な状況、損傷があるといったようなものは見受けられなかったと考えておりますが、引き続き点検結果を集約・検証の上、災害時の学校園の安全確保に万全を期したいと考えております。

【中山教育長】 この件につきまして、委員の皆様、ご意見ありませんでしょうか。

【村本委員】 ニュースでも報道されておりますけれども、本当に痛ましい事故が起こってしまい、本来守らなくてはならないところで落ち度があったようなことになっておりますので、十分皆様も緊張した姿勢で、問題がありましたら速やかな行動をお願いしたいと思います。

【中山教育長】 速やかに対応できるようにみんなで頑張っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかにございませんでしょうか。事務局、よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、6 月定例教育委員会を終了いたします。